

更に翻て大阪國道方面を觀んか大阪府に於ても着々西進して改良を加へつゝあり其の縣境孝子峠まで達せらるゝ曉に想到せらるるに想到すれば多年熱望して已まざる京阪神地方との連絡は愈々至便となり時間は益々短縮せられ本線の交通量は將來漸増の一途を辿るべく新橋を中心とせる前記地域の亨くる恩恵は蓋し莫大なるものあるべし、尙又本橋と關聯する野崎村紀ノ川右岸舊堤から大阪府境孝子峠に至

る間は幅員二・七〇米勾配十二分ノ一屈曲半經七・〇〇米の如き難所點在して自動車運輸は勿論交通も亦著しく阻碍されたるを以て昭和六年度失業救濟事業として國直轄の下に工費二一六、六〇〇圓を以て延長約五、三五〇米を改良することとなり、昭和七年七月竣功したるものあるを以て本橋竣工と共に交通に資すに所少からざる次第なり。

京都觀月橋の竣功

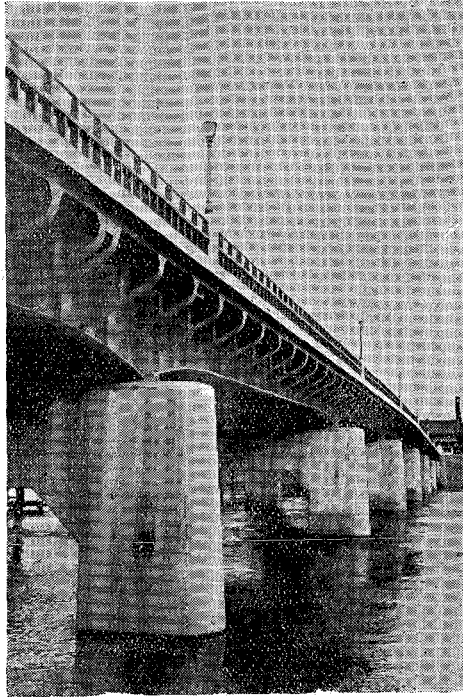
京都府土木部

京都市七條通で國道第二號線と分岐し、奈良を経て和歌山市に至る第十五號國道路線を奈良に向つて辿り行き、伏見の東南桂川に至れば近代的モダン橋が新粧成りて文化的生活にふさわしき姿を呈してゐる、之れが觀月橋である。昔時は大友豊後守が邸に接しておこつたので豊後橋と呼ば

れたが舊稱は桂橋と稱せられた、明治六年一月架橋の時、觀月橋と改稱し明治四十一年八月に架換へたものである、其の工事概要をかゞぐれば左の如し。

工 事 概 要

京都市伏見區宇治川に架設中の觀月橋が此の程竣功した。其の工事報告に就いては、何れ本工事に關係せられた方に書いて頂くことにして、此處には其の概要丈けを掲げ



橋 月 観

工事施工年度

昭和九年度—昭和一〇年度

橋種(型式材料)

突桁式鋼鈹桁橋

橋面構造(舗裝材料)

鐵筋コンクリート床版(厚一五糎)

橋面

車道シートアスファルト 厚三糎
歩道アスファルトブロック 厚三・八糎

欄干材料

地覆花崗石、欄干鑄鐵鋼管

全橋長及有効幅員

長一八〇・〇〇米、幅一・〇〇米
車道、八・〇〇米、歩道二@一・五〇米

連數及一連長

七連、二五・五〇米

縱斷横斷勾配

縱斷七五分ノ一、横斷五〇分ノ一

拋物線勾配

橋面有効面積

一、九八〇平方米

總工費

二三四、九二四圓 (一平方米當リ

一一三・五圓)

て置く。(NT生)

橋梁所在地名

京都市伏見區 豊後橋町
向島橋詰町

上部構造

主橋體用鋼材料

總噸數 四七八・〇九二噸

架橋道路種類及名稱

十五號國道

橋格

二等橋

(二四一・五噸/平方米)

使用コンクリート量 總粒數 三七八・〇六九立方

橋脚(形式材料)

圓形井筒基礎鐵筋コンクリート構

(〇・一九一平方米/立方米)

造六基

上部總工費 一三三、二四四・三五圓

橋脚ノ大體ノ大サ及形狀

井筒ノ徑下部四・七米、上部四・五

(六七・三圓/平方米)

米、深サ平均八・五米(一〇・〇

橋體費 一〇〇、八七七・二〇圓

五・五米)

(五一圓/平方米)

軀體頂部徑一一・五米、幅一・二米

橋床費 一八、九一〇・八六圓

平均高八米(八・八—六・九米)、鐵

(九・五六圓/平方米)

筋五八・九四九噸、曲沓三八・二五

欄干費 一三、四二七・三五圓

二噸、混凝土一、八七二・〇六立方

(三七・四圓/米)

米(各六基分)

下部構造

下部總工費

橋臺(型式材料) 杭打基礎鐵筋コンクリート(扶壁

橋臺費 八二、五八三・九九圓

式)二基

橋脚費 一七、四二八・二二圓

橋臺ノ大體ノ大サ及形狀 長一四・八米、幅五・五米、高九・〇

其他ノ工事費 六五、一五五・七七圓

〇米、杭七・〇〇米、鐵筋一八・五

從業人員 九、〇九五・六圓

八七噸、混凝土五三一・四四立方

延人員 一一、三六五人

(各二基分)